

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	◎	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・世界情勢をみると、東西冷戦の状況となっている。
	◎	百貨店（サービス担当）	・今後も傾向に変化はなく、新しいショップのオープンや催事の強化に加え、中国の国慶節で訪日客も増えることから、売上の増加に期待している。
	◎	百貨店（服飾品担当）	・中国からの客が更に増えると予想されるなか、在阪球団の日本シリーズ進出の可能性も高いことから、更なる来客数の増加が見込まれる。また、関西ではラグジュアリー商品への関心が高く、大阪・関西万博も控えるなかで、改装計画の話が増えるなど、今後も売上増を計画している店舗が多い。それに伴い、来客数にもまだ増加余地があると予想している。
	◎	百貨店（マネージャー）	・秋の行楽の本格化による衣料品の販売回復や、クリスマスや年末年始での各種会合の増加に合わせて、関連需要も回復することが予想される。
	◎	高級レストラン（企画）	・中国からのインバウンドの回復が進み、宿泊やレストランの収入の増加が予想されるほか、猛暑による出控えも解消される。
	◎	旅行代理店（役員）	・クルーズや海外旅行の更なる回復に加え、年末年始関連の需要も4年ぶりの復活が期待される。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・紅葉の季節となることで、中国からの個人客などのインバウンドが増え、消費の増加につながる。
	○	一般小売店〔野菜〕（店長）	・インフレがどう進むかによるが、これ以上の物価の上昇がなければ、徐々に回復が進む。
	○	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・気候が良くなり、人の動きが活発になれば、多少なりとも販売量のアップが期待できる。
	○	百貨店（売場主任）	・為替の変動や物価の上昇といった懸念材料はあるものの、国内需要はかつてのライフスタイルに戻りつつあり、更なる回復が予想される。また、今後は中国からのインバウンド需要の増加も見込まれる。かつての状態に戻るかどうかは不透明であるが、現状よりも良くなると予想される。
	○	百貨店（売場主任）	・当面はインバウンド効果の本格化により、都心店は好調で、郊外店は前年並みという状況が続くそうである。全体としては、やや良い方向に向かっている。
	○	百貨店（企画担当）	・今月末から始まる、中国の国慶節に伴う購買の動きに注目している。
	○	百貨店（管理担当）	・中国の国慶節に伴う旅行客も増えており、今後の回復に期待したい。
	○	百貨店（外商担当）	・以前の勢いからすると、今後は来客数の増加が見込めないものの、販売単価や販売数量の増加は期待できる。
	○	百貨店（マネージャー）	・期待していた中国人客の訪日が、原子力発電所の処理水問題で冷え込むなか、足元の売上は予想以上に好調に推移している。中国人の訪日への期待はもちろん、まだ国内客の間でコロナ禍やインフルエンザなどの影響も残っていることから、今後の景気回復にも期待している。
	○	百貨店（外商担当）	・中国からの旅行客の増加により、インバウンド売上はかなり増えると予想される。
	○	百貨店（マネージャー）	・10月からの値上げを考慮すると、国内の中間層の間で定着してきた選択的な節約消費により、イベントや趣味、旅行といった意味のある消費が増える。それらに関連する商材の動きが期待できるほか、追い風となっているインバウンド需要の更なる増加により、全体を大きく底上げすると予想される。
	○	スーパー（企画担当）	・自治体によるキャッシュレス決済のキャンペーン特需により、該当店舗では売上の前年比が最大130%となる見込みである。
	○	スーパー（社員）	・食品価格の上昇と、客の収入の増加がうまくかみ合って、購買額の増加が続いている。当面はこの状況が続くことを期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・欧米からのインバウンドが増えているため、サンドウィッチやパンのほか、ジュースやサラダなどが多く売れている。特に、サンドウィッチの売上が10%ほど伸びている。
○	コンビニ（経営者）	・インバウンド需要が更に増えるほか、値上げによる客単価上昇とあいまって、更なる売上の増加が期待できる。	

○	衣料品専門店（店長）	・原料価格の上昇や、円安による海外輸入品の原価上昇といったマイナス要因はあるものの、市場での購買の動きはそれを上回っており、しばらくは現状が続くそうである。
○	衣料品専門店（店員）	・来週頃から朝晩の気温も下がるため、秋物商材の売上が伸びると予想される。
○	乗用車販売店（販売担当）	・車自体の輸入が増える傾向にあるため、販売量は増えてくる。
○	乗用車販売店（支店長）	・年末にかけて、株価が更に上昇すると予想される。
○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・年末に向けて良くなるものの、インフルエンザやコロナ禍関連など、消費者の危機感をあおるような報道が最も厄介である。
○	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・食品や日配品、日用雑貨などの生活必需品は、値上げによる影響も落ち着き、順調に推移している。今後に向けた秋冬商材への移行のほか、インバウンドによる売上増に期待したい。
○	観光型ホテル（経営者）	・10～11月は行楽シーズンであり、更に需要は増えるが、スタッフの人手不足のため、団体客の需要を取り込めない。予約を制限しながらの営業を続けざるを得ない。
○	都市型ホテル（スタッフ）	・客室の予約は、海外の団体客、個人客共に増えている。年末年始も徐々に埋まりつつあり、この調子でいけば満室は間違いなし。レストランについても、人手不足は否めないが、需要の高まりで営業時間の延長も視野に入れている。また、海外客の利用でバー営業が好調なほか、宴会も高齢者の利用が戻りつつあり、宴会場の稼働も増えている。
○	都市型ホテル（管理担当）	・原子力発電所の処理水問題によるインバウンドへの影響が懸念されたが、海外からの問合せが減る様子はない。インバウンド需要は回復が続き、客室稼働率と単価の上昇が予想されるため、売上の増加が見込まれる。
○	都市型ホテル（客室担当）	・全国旅行支援は終了したが、紅葉シーズンに入り、予約の受注ペースは順調である。特に11月は予約が順調に増えている。
○	旅行代理店（支店長）	・ラグビーワールドカップなどのイベントが開催されるなか、客の間で外出などへの積極性が高まっている。それに伴って旅行の動きが増えるなど、少し状況は好転している。
○	通信会社（社員）	・前年と同じ傾向となれば、今後も大きな変化はないが、年末商戦に期待している。
○	通信会社（役員）	・大手通信会社のキャリアショップの運営について、今年度下期以降は方針の変更が予定されている。キャリアショップの運営手数料の改善と、販売促進費の負担軽減に期待している。
○	競輪場（職員）	・例年の傾向から、年末年始は良くなると予想されるが、様々な商品の値上がりにより、基調としては弱いと予想される。
○	住宅販売会社（総務担当）	・客の動きが良くなってきたほか、購入額も上がってきている。
□	商店街（代表者）	・コロナ禍によるライフスタイルの変化が大きいため、状況は大きく変わらない。
□	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・新型コロナウイルスの5類感染症への移行により、人の動きが活発になってきたが、最近少し落ち着いている。
□	一般小売店〔呉服〕（店員）	・生活必需品ではないため、購入をキャンセルする客も出てきている。
□	百貨店（売場マネージャー）	・景況感の変化に直結するような要素は見当たらないため、大きな変化はないと予想される。
□	百貨店（販促担当）	・状況の大きな変化はみられず、購買動向は現状並みと予想している。予報どおりに暖冬となれば、重衣料の動きの鈍さも懸念される。ただし、外出需要に関しては今冬も期待できるため、期待できる部分もある。年末年始の会合需要などの喚起を図っていく。
□	百貨店（販売推進担当）	・度重なる値上げにより、生活防衛意識が強まっている。
□	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、プール熱などの流行はある程度続くものの、人流が止まることはない。現状と同じく、比較的堅調な推移が予想される。

<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・米国の政情不安や、ウクライナ危機の継続、円安の進行、物価の上昇、対中国リスクなど、良くなる要因が見当たらない。中国の個人客を含むインバウンドの戻りが救いであるが、購入品が海外の高級ブランド品だけとなれば、国内景気への影響は小さい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・国内売上の伸びが鈍化しており、インバウンド売上頼みとなっている。ただし、中国の国慶節に伴う動きには、原子力発電所の処理水問題で余り期待できない。原材料価格の高騰による物価の上昇が続く一方、賃上げは進まないため、消費者の節約志向が更に強まることが懸念される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加もほぼ落ち着き、足元の売上や来客数は増えつつあるが、観光客や買物客は県外や都心部に向かっている。特に、ラグジュアリー商品や衣料品ブランドでは、その傾向が強い。一方、地方ではインバウンドが増えており、免税売上が増加している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・気温が下がり始めたことで、秋物商材の販売増加を期待しているが、相次ぐ物価上昇の影響で、中間層の消費マインドが回復していないと感じる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	・円相場の動きのほか、中国経済の先行きには不透明感がある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・業界全体では上向き傾向が続いているが、大手企業に限られており、中小企業には回復の様子がみられない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・値上げは今後も増える見込みであるため、値上げに伴う買い控えも継続する。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・インバウンドも現状と同じような動きが続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・まだ値上げが続くことで、現状の傾向が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・北海道産の食品がメインになってくる季節であるが、入荷がないか、あっても値段が高いなど、状況は今後も厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・物価が3か月で下がるとは思えないが、収入が増える雰囲気はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・競合店の出店はなく、10月の食料品の値上げも大きな影響はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・一部スーパーでの、プライベートブランド品の値下げ報道が出ている。物流コストの低下など、根拠のある場合は別として、体力を消耗するような値下げ競争は、景気の好循環に水をさしかねない。また、不毛な競争は、長い目で見て消費者にもマイナスとなるため、避けねばならない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・10月から最低賃金は引上げとなるが、景気が回復するまでには至らず、現状維持が予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・10月からの値上げにより、また節約の動きが始まりそうである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・来客状況は安定しているが、まだ客が増えるかといえば、特に増える要素は見当たらない。季節が変わるため、気温の変化に対応した商材を見極めたい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・良い方向に向かっているため、しばらくはこのまま売上の良い状態が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・物価の上昇が落ち着かない限り、ますます客の財布のひもは固くなる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・近隣に商業施設が開業し、人の流れが大きく変化した。商業施設の工事中は関係者が来店したが、工事が終わると来客数が大きく減っている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・現状の補助金効果が、今後も続くと期待している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・物価の上昇が続く以上、先行きは厳しい。ただし、各種の補助金制度を強化することで、影響は少し緩和される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・起爆剤となる商品がなければ、家電は厳しい状況が続く。リフォームを中心に、エコ関連の補助金制度に期待したい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・物価の上昇に賃金の上昇が追い付いていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・個人消費の増える要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・部品代が上昇する一方で、車検の整備料金は余り上がっていない。新車や修理についても大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・生産台数が限られているため、大幅増は見込めないが、高水準での推移が予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・好転する材料もないため、変化は期待できない。

<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・化粧品の新商品は予約注文が余り入らず、プラスアルファで買物をする人も少ない。賃金の上昇が約束されれば、生活必需品以外にも手が伸びると期待される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・補助金の延長が決まり、ガソリンの店頭価格も下がっているが、最近ではガソリン価格と出荷量の相関は薄く、今後も比較的安定した需要が予想される。原油価格の上昇による景気への影響が一旦薄れることで、今後の景況感には大きな変化がない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・円安や物価上昇が続くなかで、宝飾品に消費者の目が向く要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）	・物価の上昇による消費の鈍化や、収入の増加に対する期待の薄さ、新型コロナウイルス感染症などの流行が懸念される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・年末までは、このまま静かな状態が続く可能性がある。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・残暑の影響のほか、仕入価格もまだ値上げが予定されており、安定した価格を設定することは難しいため、利益の確保に向けた課題と不安が続く。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・エネルギー価格は落ち着きを見せているが、原材料価格は上がる一方で、業績に大きな影響が出ている。また、人件費の上昇や人手不足も業績の懸念材料となるなか、一気に悪くなるとは思えないが、先が読めない状況である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・気温の上昇がまだ続くなか、来客数に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・大きくは変わらないものの、少しずつ首が絞まっていく。値上げが簡単に行われる一方、賃金の上昇は追い付いていない。最低賃金の引上げによる所得の壁に対し、小手先で対応しては意味がない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・物価の上昇や世界的な不況のなか、日本経済はその影響を受けるため、余り良くなる見込みはない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・物価の上昇で、客の動きが少し鈍くなっている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・景気に左右されつつも、旅行需要はみられるが、物価の上昇によって動きが消極的になっている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・良くなる材料がない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総務担当）	・忘年会や新年会が増える時期に期待しているが、インフルエンザの感染拡大により、年配客を中心に出勤が続くことが予想される。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（客室担当）	・宿泊の予約受注は順調に推移している。客単価の上昇に期待したいが、国内消費はしばらく厳しい状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・今よりも景気が上向くためには、海外旅行の需要がかつての水準に戻る必要がある。ただし、旅行代金が高くなっており、検討中の客が多いため、見通しは厳しい。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・暑さや夏休みなどに伴う特需が無くなってきたため、今後は落ち着いた動きが続く。行楽シーズンになり、人出の増加が見込まれるが、今後は現状の動きが続く。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・前年と比べて来場者数は増えたが、ここ2～3か月は増加率の上昇が止まり始めている。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・大手企業以外、賃金の上がりにくい状況に変化はない。一方、10月からの最低賃金の引上げで、アルバイトを多く抱える企業は負担が重くなる。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・予約の状況や単価の上昇を考慮すれば、今後も景気は良くなる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・今後の催事の予定に大きな変化はないが、光熱費や工事費といった、経費の増加が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・プロ野球シーズンが終了となる10月は、例年は集客が減少するものの、クライマックスシリーズ開催が決まり、日本シリーズの開催も大いに期待できることから、多くの来場者を見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・中国からのインバウンドがすぐに増えるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー〔スポーツ施設〕（業務担当）	・様々なスポーツでワールドカップやアジア大会が開催され、スポーツを楽しむ気運は高まるものの、全体的には天候にも左右されやすいため、先行きは不透明である。

□	美容室（店員）	・今のところ、周りで良くなる要素は余り見受けられない。
□	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	・景気が悪化するなか、一時的に入会者は増えたが、ここ最近では落ちている。今後は取りあえず、現状維持は可能と予想される。
□	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	・今後の金利情勢や販売価格次第では、個人向けの住宅販売は悪化する可能性がある。
□	その他住宅 [展示場]（従業員）	・建築資材価格の高騰は当面続くと予想される。
□	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・新築住宅の販売が厳しければ、リニューアル物件でカバーしたいが、人手不足の状況がどうしても改善できず、仕事はあっても処理ができない。好転する材料がないまま、年末までは現状維持が続く。
□	その他住宅 [情報誌]（編集者）	・不動産価格の上昇については、2極化の面も強い。価格の上昇エリアでは、今後は住宅の販売が厳しい状況になると予想される。
▲	一般小売店 [時計]（経営者）	・相次ぐ物価の上昇に加え、10月が近づいても猛暑日が続くなど、毎日の生活に不安要素が多過ぎる。近隣の個人商店も相次いで閉店し、その後が更地になるなど、地域としても活気が全くない。今後、景気が良くなるとは考えにくい。
▲	一般小売店 [衣服]（経営者）	・消費者からは物価上昇の言葉がよく出る。この先、更に物価の上昇が進むなかで、賃金が思うように上がらなければ、生活必需品ではない衣料品の売行きは減少することが懸念される。
▲	スーパー（店長）	・商品の値上げや電気代の高騰、円安の影響もあり、今後も消費には減少圧力が掛かると予想される。
▲	スーパー（開発担当）	・具体的な景気対策がみられないなか、物価はどんどん上昇している。賃金は上がっていないため、景気が良くなることはない。
▲	コンビニ（経営者）	・最低賃金の引上げやコロナ関連融資の返済、物価の上昇などが進むなか、中小企業が今の経営を続けられるかどうかは不透明である。既に企業努力の範囲を超えている。
▲	コンビニ（店員）	・商品の値上げが相次ぐため、少しでも価格が安いスーパーなどに、客が流れると予想される。
▲	コンビニ（店員）	・朝晩は涼しくなったことで、冷たいアイス類などの売行きが落ちている。
▲	家電量販店（店員）	・物価の上昇が、買い控えにつながっている。家電でいえば、エアコンや冷蔵庫、洗濯機などの価格が高過ぎるという声が、客からよく出ている。
▲	家電量販店（人事担当）	・今年の冬は暖冬予想であり、冬支度に必要な商品の売行きが伸び悩むと考えられる。また、10月以降も多くの商品で値上げが控えているため、いかにお買い得感を演出するかが求められる。
▲	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・寒くなってくるが、物価上昇の影響で、例年よりも買換えの頻度は減る。
▲	旅行代理店（従業員）	・為替対策のほか、原油価格や物価の上昇への対策が求められる。
▲	タクシー運転手	・インボイス制度の問題に加え、物価の上昇に給料の増加が追いついていない。
▲	通信会社（経営者）	・円安の進行による、輸入原材料の価格高騰が懸念される。
▲	通信会社（社員）	・消費は、家計の固定費削減による影響を避けられず、景気回復の兆しがみられない。
▲	通信会社（営業担当）	・物価の上昇もあり、客の財布のひもが固くなっている。当社のサービスはし好品に当たるため、客単価の上昇は期待できない。
▲	テーマパーク（職員）	・インボイス制度の導入で、経済を支えている中小企業の負担が増えることから、明るい見通しが立てられない。
▲	その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・現在の好調は、特需によるものである。ガソリン価格や食料品の値上げが大きいと、今後は消費マインドの低下要因となる。
▲	美容室（店長）	・インボイス制度の導入に伴い、当社の手続きも何かと増えそうである。さらに、担当の税理士も忙しくなっており、当店への影響が出ないか懸念している。
▲	その他サービス [マッサージ]（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減る。

	▲	住宅販売会社（経営者）	・地価が高くなり過ぎて、下降局面に入ったと感じる。今後は緩やかにバブルがはじけていく。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・原価の上昇により、利益の圧迫が予想される。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新築マンションは、建設費が高騰するなか、工事の着手が遅れる物件が出てきている。事業収支を考えると販売価格を上げざるを得ないが、既に高額であるため、金利動向によっては販売が冷え込む恐れがある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・明るい兆しがなく、アフターコロナの社会の姿もはっきりみえてこない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・仕入先に良い商品のない状態が続いている。高いお金を出しても、良い商品が入ってこない。衣類は中国やアジアからの輸入品であるが、今後は商品の不足で売れる物がなく、悪くなっていく。
	×	家電量販店（店員）	・補助金の活用などで需要を先取りしているため、今後は購買意欲が低下することは明らかである。故障による買換えといった確実な需要を取り込まなければ、更なる売上の減少は避けられない。それと同時に、小規模な案件を確実に、かつスピード感をもって契約しなければ、現状維持すら難しい。
	×	住関連専門店（店長）	・円安や物価の上昇が続いているため、生活必需品ではない高額な輸入住関連商品については、買い控えの流れが止まらない。
	×	一般レストラン（経営者）	・値上げばかりでは、消費者の財布のひもは緩まない。コロナ禍が収束しても、企業や団体客の食事はまだ少ない。
	×	一般レストラン（店員）	・物価の上昇により、値上げせざるを得なくなった。その影響がどう出るか、今後は不安が残る。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	化学工業（企画担当）	・コロナ禍による行動制限が無くなってから、食品需要が増加したほか、値上げも浸透している。
	◎	電気機械器具製造業（経理担当）	・季節要因もあるが、見込み案件が増加している。
	○	食料品製造業（営業担当）	・インバウンド効果がしばらく続きそうなほか、ラグビーやバスケットボールなどのスポーツ観戦者が増えている影響もあり、飲食店の客が増加傾向にあるため、飲料水の売上も少し良くなる。
	○	繊維工業（団体職員）	・当産地の需要期を迎えるため、状況は良くなる。
	○	広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、今年も広告売上が前年を超える状態が続いている。
	○	広告代理店（営業担当）	・11月頃までは、今のペースで受注が入りそうである。
	○	経営コンサルタント	・やや良くなることが期待されるが、取引先による相談の多くが、助成金の利用を想定したものとなっている。助成金頼みとまでは言わないが、助成金ありきになっているとすれば、先行きは危うい。
	○	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・円安の急伸で物価が大きく上がれば別であるが、当面は現況が続くと予想される。多くの産業で、かつての水準を目指した回復が続く見込みである。
	□	食料品製造業（従業員）	・家庭用商品は苦戦が続く一方、かなりの値上げをしない限り、業務用の低価格品は今後も伸びる可能性はある。ただし、他社の動きも考慮する必要がある。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、増産の情報が入ってこない。
	□	化学工業（管理担当）	・各分野の業況はまだら模様であり、先が読めない。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・試作品は地味であるため、成果が出て売上が増えるまでには、少し時間が掛かる。従来の継続的な受注に対応しながら、新規の受注につなげたい。
	□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・日米の金融政策の違いで金利差が生じているため、今後も円安傾向が続くと予想される。物価もなかなか落ち着かないが、ガソリン代の補助の延長が決まったことで、3か月先の景気に大きな変化はないと予想される。
	□	金属製品製造業（経営者）	・自動車関連の受注内示の状況をみると、大きな変化はない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・ここ数か月は景気に変化はないと予想される。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・依然として先行きが不透明である。	
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い案件は少し増えているが、受注までには至らない。	

	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・消費者物価の上昇に対し、消費者が感覚的に納得できていない。
	□	建設業（経営者）	・今後は2024年問題などの働き方改革や、大阪・関西万博による技能労務者不足の影響で、従来よりも工期が厳しくなると予想される。建設コストや工期についても、取引先の理解が更に必要となる。
	□	建設業（経営者）	・現状と同様に、受注した仕事をいかに回していくかが課題である。
	□	輸送業（商品管理担当）	・毎年10～12月は売上が減るため、今年も同じ傾向となる。
	□	輸送業（営業担当）	・運賃を段階的に値上げすると、すぐに運賃の安い他社に客が流れるものの、今後も値上げは続ける予定である。
	□	輸送業（営業担当）	・キャンペーンを行っても、売上が伸びない。
	□	金融業（営業担当）	・燃料費をどれだけ圧縮できるかが課題であり、販売管理費や原材料費の削減も必須となる。
	□	金融業（副支店長）	・取引先訪問時に受注状況を確認すると、前月と変わらないとの回答が多い。
	□	司法書士	・新型コロナウイルスの新規感染者数が徐々に増えており、冬に向けて更に増加する可能性もある。物価の上昇やインボイス制度の開始といった課題があるため、現状が維持できればよい。
	□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・物価が上がる一方、工賃や賃金は上がらない。
	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・商品の動きが鈍いため、困っている。
	▲	繊維工業（総務担当）	・経費の見直しのほか、新製品の販売で単価の引上げを進め、コストの上昇を補っていく。ただし、販売催事での集客の減少が気になる。
	▲	化学工業（経営者）	・値上げの影響で、新規案件が小型化している。
	▲	一般機械器具製造業（設計担当）	・所得の上昇が鈍いなか、物価の上昇が先行している。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・為替の状況に左右される。
	▲	建設業（経営者）	・10月からの更なる値上げや、電気代、燃料等の高騰によって、住宅価格の更なる上昇が予想される。ただし、年末にかけて人件費もそれに追随するとは考えられない。
	▲	輸送業（経営者）	・今年の4月から、荷物の量は少ないままで推移している。また、日本を代表する大企業が倒産するといった噂も流れるなど、おかしな動きもあるため、積極的に新規の受注を狙にくい。
	▲	不動産業（営業担当）	・来月以降も、アパレルや着物といった服飾関係の店舗の撤退が続く。それに伴って空室が増え、家賃も下がることで景気は悪化する。
	▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ガソリンや電気、ガス代への補助が年末まで延長となったことで、一旦は生活費の上昇に直面する事態が回避できている。
	×	繊維工業（総務担当）	・円安の影響で、収益の減少に歯止めがかからない。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・大企業は相変わらず、値上げを受け入れない姿勢であるため、価格転嫁が進まない。今後は人件費や資材コストの更なる上昇により、採算の悪化が予想される。
	×	通信業（管理担当）	・10月の値上げで、更に景気は悪化する。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・コロナ禍に伴う融資の返済が始まることで、予想されたとおりに中小企業の資金繰りが悪化しており、今後は倒産が増える。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・今後の具体的な経済対策がみえず、全く展望が開けない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（支店長）	・いろいろな状況が見通せる状況になれば、人や企業が動き出すと予想される。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・今後も旅行業界は、訪日外国人の増加によって活発化が期待できる。ただし、物価の上昇といった不安要素があることも否めない。

○	民間職業紹介機関（営業担当）	・2024年卒の採用が一旦落ち着き、2025年卒の採用に向けて本格的に企業が動き出す時期であるため、イベント出展やメディア掲載が増えると予想される。また、10月の内定式を迎えると、内定の辞退が出てくる時期となるため、追加募集での広告掲載や、新卒紹介も増えることが予想される。
○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末に向けて、求人数が増える傾向にあるため、現在よりも状況は少し良くなる。
□	人材派遣会社（管理担当）	・物価の上昇により、景気が良くなるまでには至らない。
□	人材派遣会社（役員）	・景気対策が実施されても、消費者の購買動向が変化するほどのインパクトはないと予想される。
□	人材派遣会社（営業担当）	・すぐに悪くなることはないが、事務スキルだけではなく、別のスキルがなければ、時給のアップにはつながらない状況が続いている。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・インバウンドはかつての水準に戻っているが、円安の進行や物価の上昇などの課題について、ある程度は解消のめどが立たなければ、景気は良くならない。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地元企業からの積極的な新聞広告や、デジタル関連の販売促進プロモーションの動きは、ほぼ前年並みと予想している。
□	職業安定所（職員）	・円安がどこまで進むか分からず、先行きは不透明である。
□	職業安定所（職員）	・事業所の慢性的な人手不足のなかで、10月からは最低賃金が引上げとなるが、前年よりも求職者の動きは鈍いことから、先行きの見通しは不透明である。
□	職業安定所（職員）	・新規求職者数は前年比で増加となっている。お盆休みの間、新規求職者数は減少したが、その後は増加し、例年どおりの水準となった。特に中高年層の申込割合が高く、求職活動も活発である。
□	職業安定所（職員）	・持続的な賃上げへの対策が、うまくいくかどうか懸かっている。
□	民間職業紹介機関（職員）	・人手不足の状況が続くなか、労働条件の大幅な引上げが困難な中小企業は、求人を募集しても希望者がいないため、受注規模などを縮小せざるを得ない。
□	民間職業紹介機関（支社長）	・これまでの落ち込みに耐えてきたため、今後も大きくは変わらない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・週末に繁華街に外出したが、高級ブランド店に長蛇の列ができるなど、インバウンド景気が復活している。今後は中国人客が更に増えることになる一方、国内客の購入意欲は今一つの状況である。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・インバウンド需要が戻りつつあり、観光や飲食などの業種の求人も増えているが、これらの動きで景気が上向くまでには、もうしばらく時間が掛かる。
□	その他雇用の動向を把握できる者	・8月の新規求人数は、季節調整値で前月比2か月連続の増加となり、原数値でも前年比で26か月連続の増加となっている。人手不足が続くなか、求人は今後も底堅く推移する見込みである。ただし、これまでの物価の上昇や、世界経済の鈍化による影響を懸念する声に加え、最低賃金の大幅な上昇を懸念する声もあり、これらの影響を注視する必要がある。今後、特にコロナ禍や物価上昇の影響を受けている中小企業が、新たな人材確保や流出の防止を進めるため、最低賃金への対応を含めて、賃上げを実施できるか否かが、企業の存続や事業運営に大きく影響する。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・円安はますます進み、物価の上昇も続くと予想されるなど、景気が活気付くような材料が見当たらない。
▲	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・国内では円安に歯止めが掛からず、国外でも米中共に財政の悪化や景気の減速懸念を抱え、情勢は不安定化している。ウクライナ紛争や世界的なインフレも続くなか、株価も日米共に下落基調に変化した。国内外共に懸念材料が増え、景気はやや下向きへと潮目が変わっている。
×	学校〔大学〕（就職担当）	・物価の上昇や経済対策の遅れ、増税の予想など、暗い未来しか待っていない。